



直島、豊島、本島、栗島を巡る2日間のフィールドワーク  
**本村トーク「瀬戸内の歴史 本村の歴史」開催のお知らせ**  
瀬戸内海的环境や歴史に造詣の深い岡市友利氏をお迎えし、直島「家プロジェクト」の試みを、瀬戸内の4島を巡りながら考察します。

1998年より直島・本村地区で展開している「家プロジェクト」のテーマのひとつは、“現在の内に過去と未来をもつ”ということです。アートを通じた土地の記憶をひもとく活動が、現在にどういった影響をもたらしたのか、瀬戸内の島々にフィールドを広げて、「家プロジェクト」の試みを見つめ直します。講師には瀬戸内海的环境や歴史に造詣が深い、香川大学名誉教授の岡市友利氏をお迎えし、チャーター船で直島、豊島、本島（丸亀市）、栗島（三豊市）の4島を巡り、島ごとに異なる歴史を俯瞰します。各島が積み重ねてきた時間を、岡市氏のお話を聞きながら現地を巡る貴重な機会です。皆様には広く告知いただけますようご協力をお願いいたします。

1.



2.



1. 本村の風景 写真：上野則宏  
2. 豊島美術館 写真：森川昇  
下 直島の港 写真：鈴木心

日時 2012年3月10日（土）－11日（日）  
会場 直島、豊島、本島、栗島 ※料金はスケジュール内施設の鑑賞料に加え、11日（日）の昼食代などを含みます。  
料金 ￥4,000+ 船賃 5,000円（2日間） ※船賃は10日（土）の乗船時に船会社に直接お支払いいただきます。  
定員 50名（予約制） ※予約方法はウェブサイト（www.benesse-artsite.jp）をご覧ください。  
主催 株式会社ベネッセホールディングス、財団法人 直島福武美術館財団 ※原則的に、両日ご参加ください。

取材・掲載に関する問い合わせ

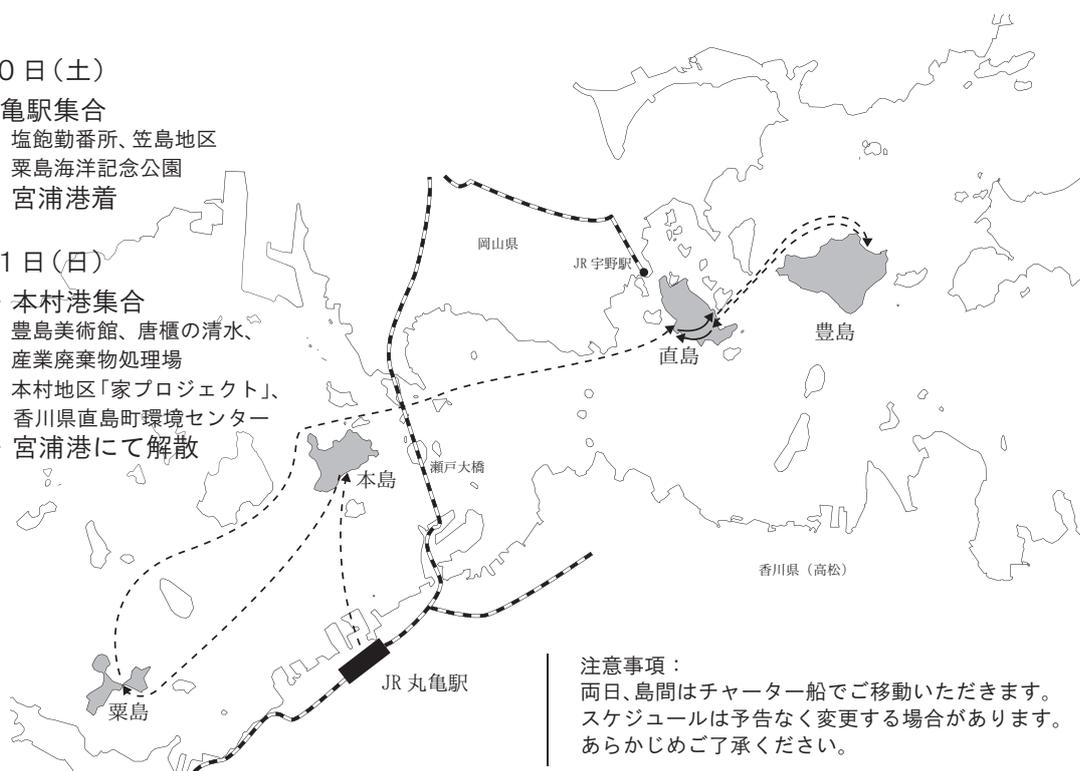
## 旅程

### ◆1日目 3月10日(土)

12:40 JR 丸亀駅集合  
 本島 塩飽勤番所、笠島地区  
 粟島 粟島海洋記念公園  
 18:30 頃 直島・宮浦港着

### ◆2日目 3月11日(日)

9:15 直島・本村港集合  
 豊島 豊島美術館、唐櫃の清水、  
 産業廃棄物処理場  
 直島 本村地区「家プロジェクト」、  
 香川県直島町環境センター  
 16:00 頃 直島・宮浦港にて解散



## 4島について

### □直島(なおしま)

瀬戸内海の海上交通の要衝として古くから海運業や製塩業が盛んであり、江戸幕府の直轄地となってから明治に至るまで、天領として栄えました。本村地区は、高台に海城を構えた集落を原形としています。

### □豊島(てしま)

豊かな原生林の広がり、「唐櫃の清水」という湧水により、古くから稲作が盛んでした。2010年には豊島美術館も開館し瀬戸内国際芸術祭の舞台の一つにもなり、アートを展開する島として新たな注目を集めています。

### □本島(ほんじま)

明治維新まで続いた人名(にんみょう)による自治の塩飽勤番所と、江戸時代と明治時代の建築物が現存している笠島集落が見どころです。瀬戸内国際芸術祭 2013 の舞台として新たに加わりました。

### □粟島(あわしま)

かつては北前船の寄港地として栄え、日本初の国立粟島海員学校は、海運業に多くの人材を送り出してきました。廃校となった今では、粟島海洋記念公園として島のシンボルとなっています。本島と同じく、瀬戸内国際芸術祭 2013 の舞台として新たに加わりました。

## 講師について

### 講師 岡市友利(おかいちともとし)

1929年、兵庫県生まれ。54年、東京大学農学部水産学科卒、同大学院進学。55年に助手、イソメ毒の化学構造と生理作用で農学博士。91年、香川大学長に就任。97年より香川県豊島産業廃棄物処理技術検討委員会委員。赤潮研究の第一人者として、瀬戸内海の養殖ハマチの赤潮による被害が拡大した時、工場・生活排水による環境汚染を発生原因として究明した。河川の上流域を含めた包括的な環境保全、行政・住民・研究者が共同で環境を守るガバナンス(統合管理)の必要性を提唱。環境庁瀬戸内海環境保全審議会会長としての活動の場を通じ、赤潮被害軽減と水産業の発展に貢献してきた。受賞歴：紫綬褒章(1994年)、瑞寶重光章(2003年)

取材・掲載に関する問い合わせ

ベネッセアートサイト直島 広報担当 / 占部、川浦、小谷、玉川

〒761-3110 香川県香川郡直島町 850  
 E-mail [press@fukutake-artmuseum.jp](mailto:press@fukutake-artmuseum.jp)

Tel 087-892-2550 Fax 087-892-4466  
<http://www.benesse-artsite.jp/>

Benesse  
 Art Site  
 Naoshima

本村トークについて



3. 本村風景  
写真：大橋富夫

「本村トーク」は、直島の「家プロジェクト」に焦点を当てた、全4回のトークシリーズです。実際に携わったアーティストのお話や、プロジェクトが展開されている本村の歴史、コミュニティへの影響など、様々な視点からお話いただくことで、より深く「家プロジェクト」を知ることができるトークシリーズです。

《次回予告》

アートの“家”

人類学者の中沢新一氏を迎え、“家”のもつ記憶についてお話いただく予定です。

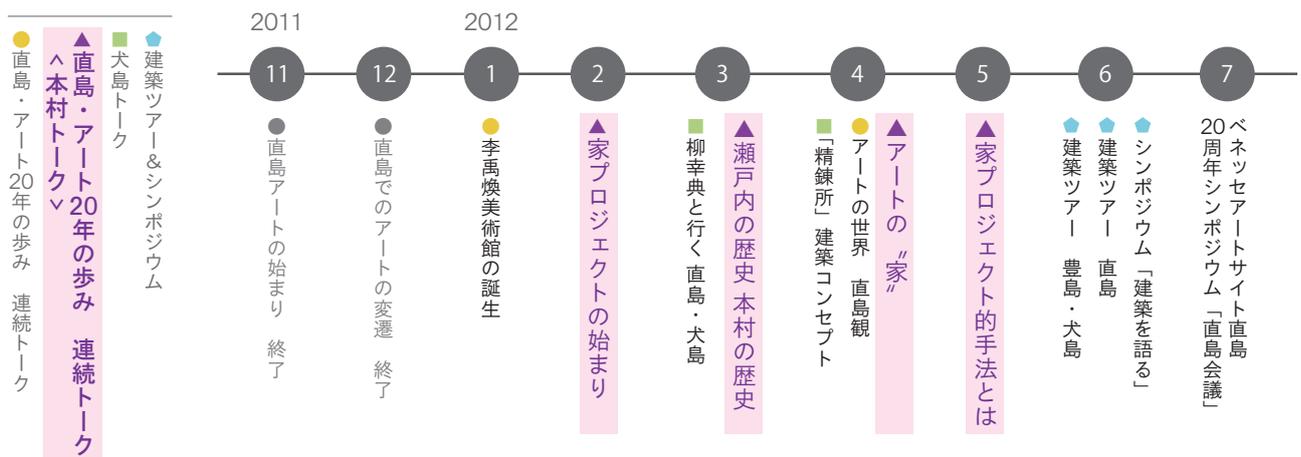
講師：中沢新一（人類学者 / 明治大学野生の科学研究所所長）  
日程：2012年4月14日（土）、会場：本村ラウンジ&アーカイブ（直島）

家プロジェクト的手法とは

プロジェクトが始まって10年以上が経過した今、「家プロジェクト」の意味や影響力について、改めて考えます。

講師：浅田彰（批評家 / 京都造形芸術大学大学院長）ほか（予定）  
日程：2012年5月頃（予定）、会場：未定

ベネッセアートサイト直島 20周年企画 生成(せいせい) イベントカレンダー



- このリリースに関する情報をご掲載いただける場合は、お手数ですが、下記担当者までご一報いただけますと幸いです。

※広報用写真について

リリースにあります写真(1~3)を広報用にご提供いたします。ご希望の方は、下記の画像取扱事項をお読みのうえ、メールにてご連絡ください。(press@fukutake-artmuseum.jp)

- ・トリミングおよび文字のせはせずご使用ください。
- ・画像には撮影者名(作品の場合は作家名、作品名も)をご記載ください。
- ・発行前に必ず校正確認をお願いします。
- ・発行・放送後は、印刷・放送録画DVDを必ずご送付ください。(WEBの場合は、掲載ページのURLをお知らせください)

- このイベントのご取材を希望される方は、事前に下記担当者までご連絡ください。

取材・掲載に関する問い合わせ

ベネッセアートサイト直島 広報担当 / 占部、川浦、小谷、玉川

〒761-3110 香川県香川郡直島町 850 Tel 087-892-2550 Fax 087-892-4466  
E-mail press@fukutake-artmuseum.jp

| ベネッセアートサイト直島ウェブサイト | <http://www.benesse-artsite.jp/>  
| 取材申し込み専用ページ | <http://benesse-artsite.jp/contact/press.html>